

令和5年度第1回学校運営協議会 議事録

校名	大阪府立久米田高等学校
校長名	若林 武志

開催日時	令和5年6月17日(土)10:00～12:00
開催場所	久米田高等学校 校長室
出席者(委員)	堂之本会長、田中委員、逢阪委員、清水委員
出席者(学校)	若林校長、木下教頭、船越事務長、田戸首席、木村教諭、堀込教諭
傍聴者	なし
協議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度第1回学校運営協議会レジメ ・令和5年度 大阪府立久米田高等学校 学校運営協議会委員名簿 ・大阪府立久米田高等学校 学校運営協議会 実施要項 ・令和5年度(2023年度)久米田高等学校マネージメントシート ・令和4年度学校経営計画及び学校評価 ・令和5年度学校経営計画及び学校評価 ・「スクール・ポリシー案作成要領」及び「スクール・ポリシー(案)」 ・「スクール・ミッション(設置者案)」等 ・2023年度進路の手引き
備考	

議題等(次第順)	
・校長挨拶	
・協議委員紹介及び事務局自己紹介	
・資料確認	
<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度の学校評価報告 ・令和5年度の学校経営計画 ・「スクール・ミッション(設置者案)」の報告 ・「スクール・ポリシー(案)」について ・その他(令和6年度使用教科書(予定)の確認など) 	
協議内容・承認事項等(意見の概要)	
<p>〈令和4年度学校経営報告について〉</p> <p>・久米田高校は地域で活躍できる人材の育成をめざしている。その一環として、国際交流活動を行ってきたが、ここ数年はコロナ禍のこともあり、あまりできていなかった。また、オーストラリアの語学研修に関しても、実施を検討したが、オイルサーチャージ代の上昇などの費用面を考えると実施が困難であるという状況である。その代わりに、カナダの高校生とクリスマスカードのやり取りなど学校内での交流を行っている。一方で学校行事に関しては以前の状態に戻りつつある。進路結果に関してもかなり良い結果が出ている。この3年間の伸びをみると、難関大学(関関同立や国立など)の人数も増えている。ボリュームゾーンの近畿大学への延べ数も飛躍的に増加している。行事のみならず、進学結果も充実している。就職についても、少数であるが、良い企業に就職している。</p> <p>〈令和5年度学校経営計画について〉</p> <p>・令和5年度についても、大きな変更点はない。行事的には修学旅行の時期を前にずらし、体育祭を早めたりしている。学校の取り組みを地域や保護者にアピールすべきという前回の意見を受け、校長ブログの発信を2倍にし、久米田メールも活用している。保護者に直接対応することも大切にしながら、ICTを上手く活用していきたい。また、校内の業務におけるICTの活用についても進めている。</p> <p>・他校の中期目標は3～4個のところが多いので、重複部分などの調整が必要。内容については異論はない。グローバルな視点が中期目標に少ない。韓国・中国などの生徒が学校見学や交流などに来る機会も増えてくることが予想される。国際交流を通して、英語の学力へのモチベーションを高めていくべき。</p> <p>・産近甲龍・関関同立などの大学は、受験人口減少にともなって合格ラインは下がってきている。近年、高校の特色化が進んでいる。学校の特色を打ち出し、地域に発信できるかが重要である。多様な問題がある中で、システムの体系化が必要である。大学入試に関しては、「年内に決めたい、近いほうがいい、部活や塾の先輩が選んでいるところを選ぶ」という生徒の傾向が大きい。浪人生も減少している。生徒集団の雰囲気があれば、進路実績は伸びてくる。校内の明るさ、教員の声掛けが進路指導に大きな影響を与えている。カリキュラムを今後どうするか検討すべき。</p> <p>・学校見学会について、なぜ学校見学会を中学校が始まっている時期に行っているのかと保護者から苦情が来ている。学校見学会の日程に実力テストを入れている中学校もある。8月25日から短縮ではない、通常授業を中学校では行っている。今後、実施日時を検討すべき。</p> <p>・すべての学年で進路ガイダンスを行っている。進路ガイダンスでは様々な大学・専門学校に来ていただき、生徒が学校を知ることができる機会を増やしている。また、夏休みにはオープンキャンパスに参加し、レポートを書く課題も出している。生徒への情報提供・保護者への情報提供をますます充実していくべきである。</p> <p>・入部率の低下は何故か。コロナの関係もあり、中学校で部活に入っていない生徒が増えている。大学の教授をお招きして、3月末に部活動の大切さについてご講演いただいた。教員の声掛けが必要である。また、教員の働き方改革と部活動の在り方との兼ね合いについてはまだまだ検討すべきことが数多くある。</p> <p>〈スクール・ポリシー(案)〉</p> <p>・現在は作成猶予期間である。令和7年度に発表するものを現在策定中である。昨年度はスクールミッション案を作成した。この資料は将来的にホームページに掲載する予定。</p> <p>・学校の特色を示すことが重要で、学校の特色がはっきりしていると、保護者や生徒に伝わりやすい。部活動や探究、進路指導が「地域の星」につながっていく。北海道や東北などでは、その特色が形骸化してきているところがあるので、どう取り組んでいくかが重要である。</p> <p>〈その他〉</p> <p>ICT活用について</p> <p>・ICTを使用することが目的になっていないか。中学校では動画を見るだけ、表を作るだけの使用になっている。生徒は50分授業で集中力がもたないので、息抜きに動画を活用するなどを考えている。効果的なICTの使い方について議論しなければならない。ICTを要素として外すことは不可能だろう。活動あって学びなしにならないように、各校での情報の蓄積が必要である。</p> <p>マネージメントシートについて</p> <p>・進路指導部は昨年度と大きな変更はない。令和7年度入試について、情報収集・発信を行っていく。</p> <p>・各学年の様子を見て、今の生徒たちには自信がない。コロナ禍の中で様々なことができなかつた生徒たちが頑張った結果が過去の進路実績である。教員からの「やればできる」という声掛けが大切である。</p> <p>・昨年度はコロナの影響があり、保護者の数を制限しての行事参観になった。今年度は行事活動をコロナ以前に戻していきたい。また、夏の見学会については、来年度は日程を早めたい。現在、中学校訪問を実施中である。高校説明会や中学校の総合的な学習などを通じて、様々な場で情報発信をしてきたい。</p>	
次回の会議日程	
日時	令和5年10月14日10:00～(予定)
会場	大阪府立久米田高等学校